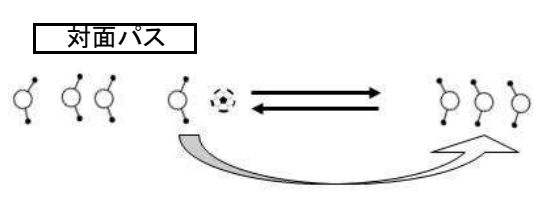
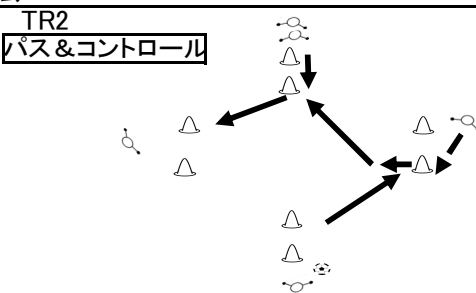
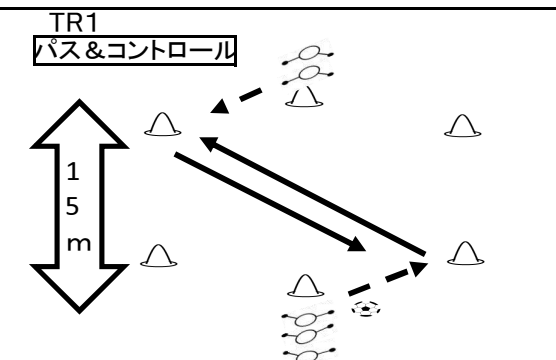
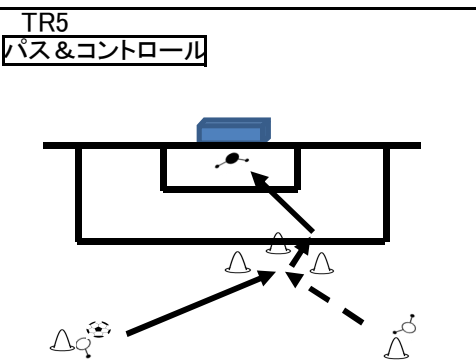


活動報告書

U-14

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	1	ブロック	U-14	日時	5月27日 9 : ~ 12 :
担当	岡部伸介(市原中学校)			会場	国分寺台西中学校	
参加スタッフ	岡部 大村 泰原					
テーマ	ボールコントロール					
指導方法						
<p>対面パス</p>  <p>[オーガナイズ] ・15人位でグループを作る ・10m程の間隔で対面パス。(初めはアンダーツータッチ) ・慣れてきたらダイレクトパス</p>			<p>TR2 パス&コントロール</p>  <p>[オーガナイズ] コントロールしてからパス サイドは動きながらターンしてパス パスしたら移動する</p>			
<p>TR1 パス&コントロール</p>  <p>[オーガナイズ] 8人組をつくる。(人数は変更予定) マーカーでボールをコントロールし、マーカーへパスをする。 パスをしたら反対サイドまで移動 次に、動き出しをどちらかのマーカーにおこし、タイミン</p>			<p>TR5 パス&コントロール</p>  <p>[オーガナイズ] 動きながらコントロールしシュート 左右交互に行う</p>			
			<p>TR6 ゲーム</p>			
キーファクター						

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

感想

- ・今回のトレーニングでは、ボールコントロールを中心に見てきたが、どうしても利き足だけでプレーしてしまう選手が多くいることがわかった。
- ・また、選考回にも関わらず選手が積極的にプレーしておらず、アピールもしていない。

課題

- ・選手一人ひとりの意識の向上が必要である。
- ・トレーニングしたことをゲームでいかすことが必要である。

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	1	ブロック	U-14	日時	6月24日 9 : 0 ~ 12 : 0
担当	岡部伸介(市原中学校)			会場	市原中学校	
参加スタッフ	岡部 大村 前田					
テーマ						
指導方法						
<p>今回は、ブロックトレセン選考会のため、市原トレセン対南総トレセンのゲームを行います。</p>						
キーファクター						

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

今回は、ブロックトレセンのメンバーを選考してみたが、基本的な技術が低いことがわかった。
今のところ、県に推薦できる選手がいない。

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	1	ブロック	U-14	日時	7月28日 9 : 0 ~ 12 : 0
担当	岡部伸介(市原中学校)			会場	八幡中学校	
参加スタッフ	岡部 大村					
テーマ						
指導方法						
<p>今回は、ブロックトレセン選考会のため、市原トレセン対南総トレセンのゲームを行います。</p>						
キーファクター						

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

暑い中での選考会だったが、選手たちはよく頑張っていた。
しかし、ブロックの範囲が広すぎるため、一人ひとりの選手の特徴を理解するのに時間がかかる

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	1	ブロック	U-14	日時	10月28日 9 : 0 ~ 12 : 0
担当	岡部伸介(市原中学校)			会場	若葉中学校	
参加スタッフ	岡部 大村 前田					
テーマ						
指導方法						
ブロックトレセンと、市原トレセン、南総トレセンとTM						
キーファクター						

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

ブロックトレセンとして初めて、ゲームをおこなっていった。練習をしていないので、コミュニケーションがとれていない場面が多く見られた。しかし、ブロックメンバーが全員集まることができなかった

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

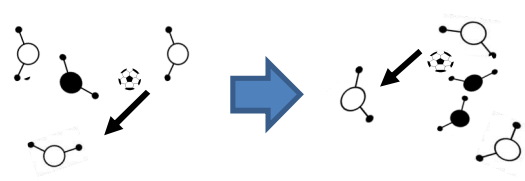
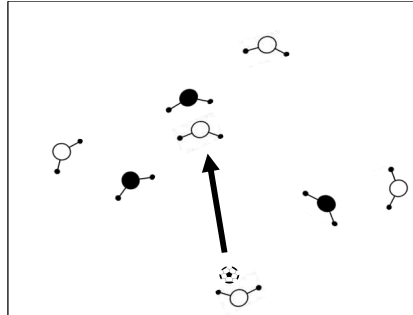
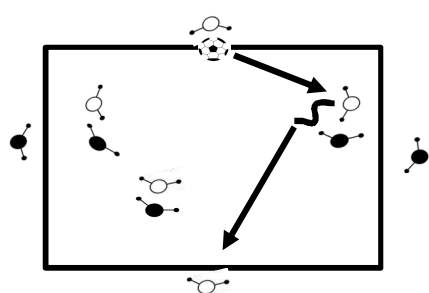
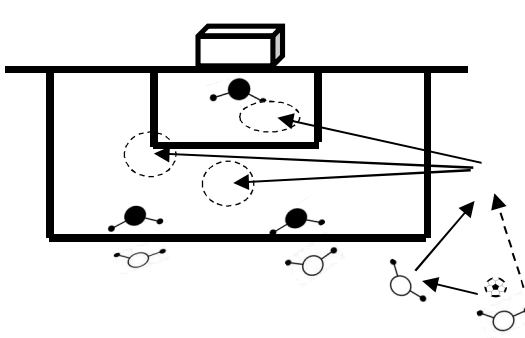
地区	第	1	ブロック	U-14	日時	11月25日 9 : 0 ~ 13 : 0
担当	岡部伸介(市原中学校)			会場	市原スポレクパーク	
参加スタッフ	岡部 大村 前田					
テーマ						
指導方法						
ブロックトレセンと、市原トレセン、南総トレセンとTM						
キーファクター						

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

今回のマッチゲームは、選手が全員あつまることができた。とても能力が高い選手がいてチームとしてやりたいことができるようになってきた。今後は交流会に向けて連携不足を解消していきたい。

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

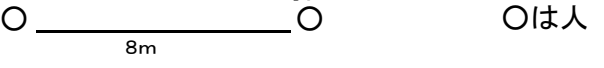
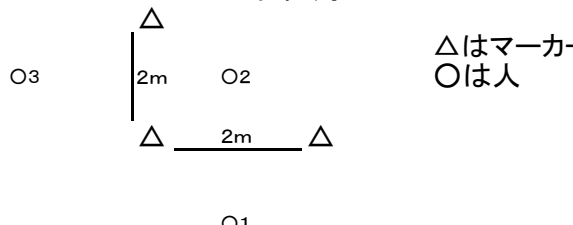

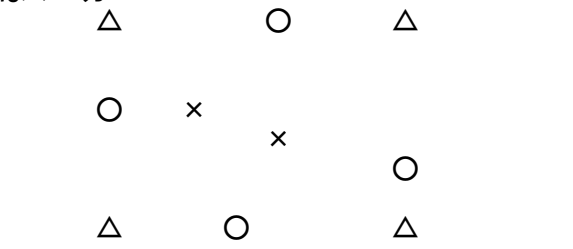
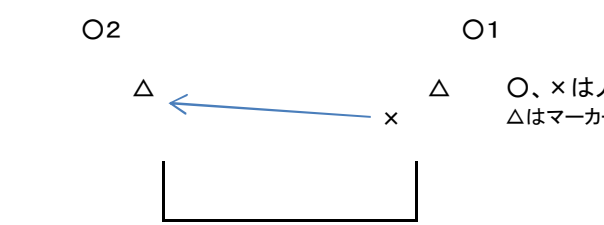
地区	第	1	ブロック	U-14	日時	12月16日 9:00 ~ 12:00	
担当	岡部伸介(市原中学校)				会場	市原スポレクパーク	
参加スタッフ	岡部 大村						
テーマ	パス&コントロール、サポートの角度						
指導方法							
①W-UP ②ストレッチ ③基礎練 ④ 3対1 3対2				⑤5対3			
 <p>【オーガナイズ】 ・グリッドなし、3人の距離が約5m程度(3対1) 【留意点】 パスしたら、アングルをつくる (2人の関係をつくる) 3人目を意識しながら相手を見て判断 コントロールで、2人のサポートが変化 【キーファクター】 ・パスの質 ・コントロールの質 ・観る ・パス&ムーブ サポートの質</p>				 <p>【オーガナイズ】 8mの正方形のグリッド 5対3のポゼッション 【留意点】 最初から角に立たない 個人とグループでの駆け引き DFに1回ボールを触られても、やめずにボール回しを続行する 狭くなりすぎない 【キーファクター】 ・パスの質 ・コントロールの質 ・観る ・パス&ムーブ ・サポートの質</p>			
⑥3対3+2 サーバー				⑦クロス			
 <p>【オーガナイズ】 ・中の3人と2人のサーバーでボールを保持しながら1往復で得点とする。 外のサーバーはレベルに応じてタッチ制限をする(できるだけアンダー2タッチでプレー) 【留意点】 中の3人で幅と厚みを意識する。トップも意識したポジショニング パスした後も観る、スペースをつくる、攻撃方向を意識する パスコースが動かない時もボールを動かしながらチャンスを狙う 切り替え・守備への働きかけ(1stDF、守備の連携を意識させる) 【キーファクター】 ・観る ・コントロールの質 ・パスの質 ・サポートの質 ・ポジショニング(幅、厚み、バランス)</p>				 <p>【オーガナイズ】 サイドで2人でパス交換してからクロス ①中2人攻撃が入る ②DFを1人入れる ③DFを2人入れる 【留意点】 1人目はニアに入る 2人目はファーに入る ファーの選手はスペースを意識して入りすぎない ②守備の状況でクロスを入れる ③DFへの働きかけ、DFとGKとの連携(GKのコーチングポイントを明確に、GKキャッチ時のDFカバーリング等) 【キーファクター】 ・クロスの質 ・クロスの入る方 ・タイミング ・フィニッシュの精度 ・リバウンド</p>			
キーファクター							

報告事項

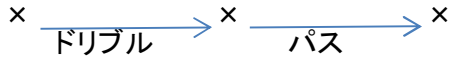
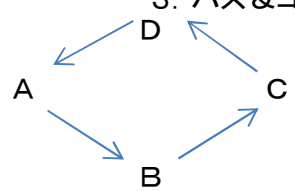

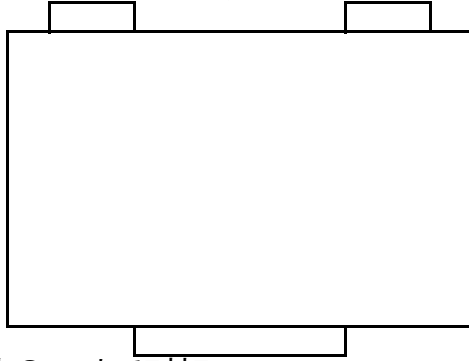
(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

3対1、3対2など、サポートの質についてこだわってトレーニングを行った。しかし、サポートをしない選手が多くいることがわかった。また、動ける選手でも、なぜその移動したのかは理解していない選手もいた。

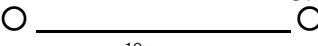
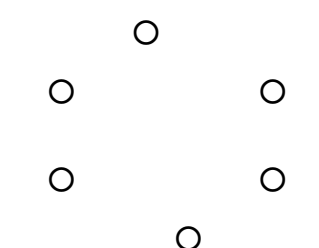
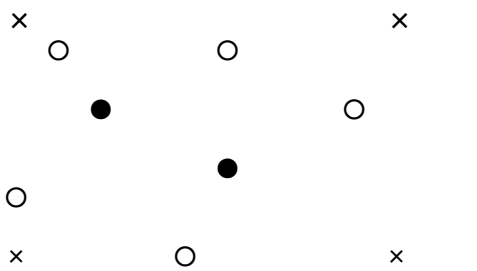
2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	U-14	日時	4月22日 8:30 ~ 12:30	
担当	藏本 淳哉				会場	長柄町立長柄中学校	
参加スタッフ	藏本 市原 中村 木島 寺田 清水 堤						
テーマ	ボールコントロール						
指導方法							
<p style="text-align: center;">1. 対面パス</p>  <p style="text-align: right;">○は人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2タッチ ・次のプレーができる場所にトラップ ・良いリズムで ・体を少し起こしてトラップの瞬間少し沈む ・音にこだわる。 ・ボールの上側でトラップ ・ボールを引きながらトラップ 				<p style="text-align: center;">2. 3人組直角パス</p>  <p style="text-align: right;">△はマーカ ○は人</p> <ul style="list-style-type: none"> ・O1→O2→O3→O2→O1の順にパス交換する。 ・対面パスのときのポイントを振り返りながら行う。 ・トラップの瞬間体全体をターンさせる。 			
<p style="text-align: center;">3. 対面パス2</p>  <p style="text-align: right;">○は人 △はマーカ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・OとOのパス交換 ・後ろのΔから前のΔに出ながらトラップ。 ・前の練習で気をつけたことを意識する。 ・ターンパス 				<p style="text-align: center;">4. 4対2</p>  <p style="text-align: right;">○、xは人 △はマーカ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・xの間を抜くのが最優先 ・xの間が閉じたらサイドを狙う。 			
<p style="text-align: center;">5. シュート練習</p>  <p style="text-align: right;">○、xは人 △はマーカ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・O1→O2へパス ・DFはパスの瞬間O2へ寄せる。 ・O2は良いコントロールをしてシュート 							
<p>キーファクター</p> <ul style="list-style-type: none"> ・プレッシャーになれる。 ・常に自分のできる最高のプレーを意識する。 							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	U-14	日時	5月27日 8:30 ~ 12:00																																																																														
担当	藏本 淳哉				会場	長柄町立長柄中学校																																																																														
参加スタッフ	藏本 中村 寺田 清水 富永 椎原 ゼムノビッチ																																																																																			
テーマ	基本技術																																																																																			
指導方法																																																																																				
<p>1. ウォームアップ&ストレッチ ×はマーカー</p> <p>×  ×</p> <p style="text-align: center;">ドリブル → パス</p> <p>ドリブルのときに下記のパターンを入れる。</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>右</td><td>イン</td><td>→</td><td>右</td><td>アウト</td><td>→</td><td>左</td><td>イン</td><td>→</td><td>左</td><td>アウト</td></tr> <tr><td>右</td><td>イン</td><td>→</td><td>右</td><td>イン</td><td>→</td><td>左</td><td>アウト</td><td>→</td><td>左</td><td>アウト</td></tr> <tr><td>右</td><td>イン</td><td>→</td><td>右</td><td>イン</td><td>→</td><td>左</td><td>イン</td><td>→</td><td>左</td><td>イン</td></tr> <tr><td>右</td><td>アウト</td><td>→</td><td>右</td><td>アウト</td><td>→</td><td>左</td><td>アウト</td><td>→</td><td>左</td><td>アウト</td></tr> <tr><td>右</td><td>イン</td><td>→</td><td>左</td><td>アウト</td><td>→</td><td>右</td><td>イン</td><td>→</td><td>右</td><td>アウト</td></tr> <tr><td>右</td><td>イン</td><td>→</td><td>左</td><td>イン</td><td>→</td><td>右</td><td>イン</td><td>→</td><td>左</td><td>イン</td></tr> <tr><td>右</td><td>イン</td><td>→</td><td>左</td><td>イン</td><td>→</td><td>足裏</td><td></td><td></td><td></td><td></td></tr> </table>				右	イン	→	右	アウト	→	左	イン	→	左	アウト	右	イン	→	右	イン	→	左	アウト	→	左	アウト	右	イン	→	右	イン	→	左	イン	→	左	イン	右	アウト	→	右	アウト	→	左	アウト	→	左	アウト	右	イン	→	左	アウト	→	右	イン	→	右	アウト	右	イン	→	左	イン	→	右	イン	→	左	イン	右	イン	→	左	イン	→	足裏					<p>3. パス&ゴー</p>  <p>四角形でパス&ゴーを行い、パスを出したほうに移動する。</p> <ol style="list-style-type: none"> 右足のみで A → B → C → D → A ... A → B → A → C → B → D → C 人にパス スペースにパス。 			
右	イン	→	右	アウト	→	左	イン	→	左	アウト																																																																										
右	イン	→	右	イン	→	左	アウト	→	左	アウト																																																																										
右	イン	→	右	イン	→	左	イン	→	左	イン																																																																										
右	アウト	→	右	アウト	→	左	アウト	→	左	アウト																																																																										
右	イン	→	左	アウト	→	右	イン	→	右	アウト																																																																										
右	イン	→	左	イン	→	右	イン	→	左	イン																																																																										
右	イン	→	左	イン	→	足裏																																																																														
<p>2. ボールコントロール</p>  <p style="text-align: right;">ターンを2回して、パスを渡す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ターン時にインサイド2回で1回転 アウト2回で1回転 足の裏2回で1回転 足の裏でとめて、引いて逆にターン ステップオーバー シザース シザース2回 ダブルタッチ 足の裏ダブルタッチ 足の裏ステップオーバー 同じ足でストップ&ゴー 違う足でストップ&ゴー 				<p>4. ゲーム</p>  <ul style="list-style-type: none"> 上のコートで5対5 幅と厚みを意識する。 コート幅はペナルティエリア スペースへの飛び出しを意識 攻守の切り替えを意識 <p style="text-align: center;">最後に11対11のフルコートゲーム</p>																																																																																
<p>キーファクター</p> <ul style="list-style-type: none"> 距離感 言ったとおりのこと体現する。 																																																																																				

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	U-14	日時	6月24日 8:30 ~ 12:00	
担当	藏本 淳哉				会場	長柄町立長柄中学校	
参加スタッフ	藏本 市原 中村 寺田 清水 一木						
テーマ	コミュニケーション, 対人プレー						
指導方法							
1. 対面パス				2. 6名また7名でパス			
 <ul style="list-style-type: none"> ・ダイレクト ・真ん中までドリブルしてパス ・右足だけでドリブル ・左足だけでドリブル ・パスした後プレスをかける。 ・パスした後その場でジャンプし、バック走る。 ・ダブルタッチをしながらドリブル ・ストレッチ 				 <ul style="list-style-type: none"> ・フリータッチでパスをする。 ・相手の名前を呼びながらパス ・次の人がパスをする人を呼びながらパス。 ・ダイレクト→フリー→ダイレクト→フリー ・全てダイレクト ・パスを出した後、出した人の場所へ移動する。 			
3. 5対2または4対2				4. ゲーム			
 <p>× はマーカー</p> <ul style="list-style-type: none"> ・フリータッチ ・3タッチ以内 ・ダイレクト→フリー→ダイレクト→フリー ・ダイレクト ・フリータッチ ・DFにとられて5秒間は取り返す。 				25分ハーフ			
キーファクター							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	U-14	日時	10月28日 8 : 30 ~ 12 : 00	
担当	藏本 淳哉				会場	長柄町立長柄中学校	
参加スタッフ	藏本 松崎 鈴木 寺田 石橋 須藤 木島 清水						
テーマ							
指導方法							
<p>1. アップ アイスブレイク ハンドパス ストレッチ</p>				<p>2. パス</p> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">×</div> <div style="text-align: center;">×</div> <div style="text-align: center;">×</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">○</div> <div style="text-align: center;">○</div> <div style="text-align: center;">×</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">↓</div> <div style="text-align: center;">×</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">↑</div> <div style="text-align: center;">↑</div> <div style="text-align: center;">×</div> </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> <div style="text-align: center;">○</div> <div style="text-align: center;">○</div> <div style="text-align: center;">×</div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 10px;"> <p>センターバックからサイドバックがもらうようなイメージ パスを受けると目の前のマーカーまでドリブル</p> </div>			
<p>3. ミニゲーム</p> <p>ダブルゴール ◎はマーカー ×はコーン コーンとコーンの間がゴール</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> ◎ × × × × ◎ </div> <div style="display: flex; justify-content: space-between; align-items: center; margin-top: 10px;"> ◎ × × × × ◎ </div>				<p>4. ゲーム</p>			
キーファクター							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	U-14	日時	12月24日 8 : 30 ~ 12 : 00
担当	藏本 淳哉			会場	長柄町立長柄中学校	
参加スタッフ	藏本 市原 清水 中村 寺田 井下田 椎原 白土					
テーマ	セレクション					
指導方法						
アップ 20分ゲーム6本						
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	2	ブロック	U-14	日時	1月24日 8 : 30 ~ 12 : 00
担当	藏本 淳哉			会場	茂原北陵高校	
参加スタッフ	藏本 寺田 堤					
テーマ	レベルの高い相手との試合(高校生との試合)					
指導方法						
ゲーム						
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	日時	5月27日 8:00～12:30
担当	杉山(銚子五中)			会場	増穂中学校
参加スタッフ	渡辺(ARTISTA)・安留(成東東中)・雑賀(佐原五中)				
テーマ	ブロック選考会				
	指導方法				

昨年度から指導スタッフが大きく入れ替わったため、ブロックのU-14年代の選手の把握と、来月の活動に向けて選抜選手を再選考することを目的として活動を行いました。
 試合は昨年度よりブロックに選出されている選手及び、県トレから戻ってきた選手をAからCチームの3チームに分け、4支部より推薦のあった選手をD-1、D-2の2チームに分けて合計5チームで交流戦を実施しました。

- 試合開始前に
- ①積極的にコミュニケーションをとって、連携を図ること。
 - ②1つでも多くの選択肢を持ってプレーすること。
 - ③ボールを大切に運ぶこと。

以上の3点を確認して臨みました。

試合は 各チーム25分×3本で合計12試合実施しました。

選考結果: 参加選手65名→44名

◇試合後の課題

- ①クラブの選手を中心に、ピッチ上で声をかけ合う姿が随所で見られました。しかし、その声も自分に余裕がある場面や試合の序盤が中心で、苦しい中で連携のための声を出せる選手はほとんどいませんでした。試合の中でどうコミュニケーションをとっていくか今後の課題として残りました。
- ②止める・蹴るなどの基本的な技術が未熟な選手が多く、選択肢を多く持つこと以前に、全く選択肢を持たない状況でボールを処理する選手が多く見られました。6月以降のブロックの活動で、選択肢を多く持つということに重点を置いてトレーニングをしていく必要性を感じました。
- ③DFの選手が安易に前線にボールを蹴り込んだり、攻撃の選手が無意味にスピードアップしてしまつて視野を狭くしボールを失ってしまう場面が多く見られました。クラブと中体連の選手の意識にも大きな差があったので、全員が共通の意識のもとで取り組めるように、今後も意識付けを図っていきたいと思いました。

キーファクター

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	U-14	日時	6月24日 13:45～17:30
担当	杉山(銚子五中)			会場	千葉黎明高校	
参加スタッフ	渡辺(ARTISTA)・安留(成東東中)・雑賀(佐原五中)・島田(幕張総合高校)					
テーマ	ブロック選考会					
	指導方法					
* 召集メンバー	5月の活動から選抜した40名の選手					
* 活動の目的	40名の選手のグループ分け A: 今年度はブロックに置いて活動し、近い将来県に推薦できるレベルの選手 B: 基本的にブロックで継続して活動するレベルの選手 C: ブロックでの活動が厳しく、もう一度支部での活動に戻すべき選手					
* 内容	千葉黎明高校とのトレーニングマッチ 30分×5					
* 選考の結果	A段階の選手: 9名 ※B・Cは今回は分けることができませんでした。 9月からはトレーニングに入るの、その中で選考することになりました。					
* 良かった点	5歳上の相手に対して、特に守備面で体を張ってがんばれる選手が多かったです。 ロングボールに頼ることなく、ボールを大切につなげようという意識が全員に感じられました。					
* 課題	<p>全体として→①必要な声が出せずに、ピンチを招く場面が多く見られました。特にDFは個々の頑張りは見られたものの、連携して守ることはほとんどできませんでした。 ※9月以降のトレーニングでは、声を出しながら取り組む必要性のある練習を意図的に多くしていく必要性を感じました。</p> <p>②スライドの意識が無く、攻守ともに連動性が見られませんでした。 DFのボールサイドにスライドしてつめる動き。 2トップのお互いを意識したポジション取り。 上の2つが全くできませんでした。本来はチームでしっかり指導すべき内容ですが、今後のトレーニングでブロックでも確認したいと思います。</p> <p>③あいさつや手伝いが積極的にできない選手が多い。 ピッチ上だけ良いパフォーマンスを発揮することができる選手が素晴らしいのではなく、ピッチ外の行動も高めていけると良いのではないかと感じました。 5・6月の2回の活動で、ラインズマンの手伝いも含めて積極的に手伝いができた選手はクラブよりも中体連に多かったように思います。あいさつも同様です。 今後、技術的に高くても、あいさつも手伝いも十分にできない選手は参加させない方向で考えています。</p>					
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	U-14	日時	10月28日 13:30～17:00
担当	杉山(銚子五中)			会場	矢田部サッカー場など	
参加スタッフ	渡辺(ARTISTA)・安留(成東東中)・雑賀(佐原五中)					
テーマ	支部別トレーニング					
	指導方法					
<p>* 召集メンバー ブロック候補40名 ※各支部ごと</p> <p>* 活動の目的 11月の支部交流戦のメンバー選考</p> <p>* 内容 支部ごとに分かれての選考</p> <p>* 良かった点 ・支部総体, 夏休みを越えて久々の活動になったが, どの支部も意欲的に活動できた選手が多かった。 ※次回から, ブロックの活動で絞り込みをしていく予定。</p>						
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	U-14	日時	11月25日 9:30～15:30
担当	杉山(銚子五中)			会場	山武南中学校	
参加スタッフ	渡辺(ARTISTA)・安留(成東東中)・雑賀(佐原五中)・島田(幕張総合高校)					
テーマ	ブロック選考会					
	指導方法					
* 召集メンバー	10月ブロックトレセンで選考した選手。					
* 活動の目的	80名の選手を50名に絞る。					
* 内容	6チームに分けてのTM					
* 選考の結果	交流戦候補50名を決定。					
* 良かった点	<p>①支部ごとに選抜されたチームを総当たり形式で紅白戦形式で交流戦を行った。支部単位でのチーム構成だったこともあり、ピッチ上で有効な声をかけ合う場面が多く見られた。</p> <p>②夏休み前よりも技術的にも肉体的にも成長できた選手が多く、これまでのAメンバーではなかった選手を発掘することができた。</p> <p>③支部単位のチーム構成だったので、それぞれの支部のカラーがでた戦い方が随所で見られた。</p>					
* 課題	<p>①クラブ支部と中体連支部のレベルの差が大きく、点差が離れてしまう試合が少なくなかった。</p> <p>②攻撃の選手に個性が強い選手が多かったのに対して、ディフェンスの選手の技術レベルが低い傾向にあった。特にセンターバックは1対1の粘りやラインコントロールの感覚、ビルドアップの正確さなどで課題が残った。今後は攻撃の選手の中で、ディフェンスの特性がある選手を選出していく必要性を感じた。</p>					
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	U-14	日時	12月16日 9 : 30 ~ 15 : 30
担当	杉山(銚子五中)			会場	山武南中	
参加スタッフ	渡辺(ARTISTA)・安留(成東東中)・雑賀(佐原五中)・相馬(ACカラクテル)					
テーマ	ブロック選考会					
	指導方法					
* 召集メンバー	11月ブロックトレセンで選考した選手。					
* 活動の目的	50名の選手を33名に絞る。					
* 内容	3チームに分けてのTM					
* 選考の結果	交流戦候補33名を決定。					
* 良かった点	<p>①3チームに分けて、それぞれチームキャプテンを決定し、その選手を中心にW-UP, 試合後の修正のための話し合い、空いた時間の使い方の工夫をさせました。チームによっては停滞気味な部分も見られましたが、選手が自主的に行動できる場面が多く見られるようになりました。また、クラブと中体連の微妙な空気の違いも、少しずつ改善しました。</p> <p>②試合の中で自分のストロングポイントを意識してプレーしようという選手が多くなった。</p> <p>③各チーム同じメンバーで30分×6本ゲームを行うことで、少しずつ攻撃のイメージがシンクロできるようになった。</p>					
* 課題	<p>①攻撃の選手のプレーの質が向上してきたのに対して、守備の選手のレベルの低さが目立った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボランチとディフェンスラインの間の選手へのアプローチのタイミングが遅く、甘い。 ・チャレンジ&カバーの意識が低く、スライドができない選手が多い。 ・声の連携ができない選手が多い。 					
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	U-14	日時	1月27日 10:45～15:45
担当	杉山(銚子五中)			会場	県立小見川高校	
参加スタッフ	渡辺(ARTISTA)・相馬(ACカラクテル)・島田(幕張総合高校)					
テーマ	身体能力に大きな差があるU-16トレセンとの試合で、それを埋めるためのアイデアや動きの質の向上を見					
	指導方法					
<p>* 召集メンバー 2月の交流戦メンバー候補40名</p> <p>* 活動の目的 交流戦メンバーを決定する</p> <p>* 内容 U-16地区トレセンとのトレーニングマッチ 30分×6</p> <p>* 選考の結果 交流戦メンバー18名を決定しました。</p> <p>* 良かった点 ①U-16の地区選抜選手に対して、しっかりとつなぐ意識をもってプレーしている選手が多かった。 ②スピードや高さなど身体能力の面では戦えない部分があったが、Aメンバーに関してはそれ以外の部分では対等以上の戦いができていた。(ボールの支配率はU14の方が高かった。) ③あいさつや副審・グラウンド整備などの手伝いは格段に素晴らしいレベルになってきた。</p> <p>* 課題 ①Aメンバーとその他のメンバーの意識の差が大きくなっている。 能力的には大きな差がないのに、自分のプレーに対する自信が今ひとつだったり、Aメンバーにはかなわないという意識があることが原因と思われる。 ②自分とボールの関係だけでプレーしている人が多く、味方を生かすプレーや味方と連携して局面を打開しようとするプレーが少なかった。 ③身体能力が上の相手に対して、攻守ともにプレーが単調で、アイデアをもう少し持ってプレーできる選手が見られればよかった。</p>						
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	U-14	日時	2月23日・24日
担当	杉山(銚子五中)			会場	23日幕張総合高校・24日法典公園	
参加スタッフ	渡辺(ARTISTA)・安留(成東東中)・雑賀(佐原五中)					
テーマ	・1年間取り組んできた崩しのイメージを共有してプレーする。・複数で守る意識を持って守備をする。					
	指導方法					
* 召集メンバー	交流戦メンバー候補20名					
* 活動の目的	交流戦メンバー					
* 内容	千葉県交流戦					
* 良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・クラブの選手と中体連の選手のコミュニケーションが十分に図ることができ、1つのチームとして機能するようになった。 ・中盤の選手が複数の選択肢を持って、しっかりとゲームを組み立てることができていた。 					
* 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・けが人が多く、年間を通じてセレクトしてきたメンバー構成で試合をすることができなかった。 ・不用意な仕掛けやミスパスでボールを失うことが多く、落ち着いた試合運びができなかった。 ・ディフェンスラインのスライドやチャレンジ&カバーの動きは改善してきたが、攻撃とディフェンスラインの連携が不十分で、攻守のバランスが悪い場面が目立った。 ・他ブロックと比べると身体能力だけでなく、個々の技術レベル・創造力などが大きく劣っていると思われる場面が多く、ブロックとしてさらに計画的・継続的な指導が必要。 					
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	3	ブロック	U-14	日時	3月17日
担当	杉山(銚子五中)			会場	矢田部サッカー場など	
参加スタッフ	渡辺(ARTISTA)・安留(成東東中)・雑賀(佐原五中)					
テーマ	・支部ごとの活動を行い、中間層の底上げを図る					
	指導方法					
* 召集メンバー	交流戦メンバー候補20名+支部メンバー20名前後					
* 活動の目的	交流戦メンバー					
* 内容	支部ごとに分かれてのトレーニング					
* 良かった点	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックでの選抜選手による活動が多くなっていたので、支部レベルで普段目にかけることができない選手を見ることができたので、中間層の底上げのきっかけとなった。 ・中間層の選手に視点をあててトレーニングすることができたので、選手の意識の向上と中間層の底上げにつながった。 					
* 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・ブロックで活動してきた選手とその下のレベルの選手の技術的・精神的な格差が開いてきていると感じ場面が少なかった。 ・練習は支部レベルの裁量で実施したため、2月の交流戦で出たブロックの課題を踏まえたトレーニングが十分できたとは言えなかった。トレーニングに際しては、スタッフの事前の打ち合わせが必要不可欠であると思われる。 					
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	4	ブロック	U-14	日時	4月22日 13:00～17:00
担当	菊地 基			会場	千葉県立白井高校	
参加スタッフ	三戸 井上 上ノ坊 菊地 佐川 松本					
テーマ	新年度セレクション					
指導方法						
<p>4ブロックU-15とのT.G</p> <p>U-14を2チームに分けてのT.G</p>				<p>体力的が上がった分、スペースをより大きく使い、パススピードを上げる。</p> <p>チームとしてのコミュニケーションを積極的にとる。</p> <p>チームや昨年度と違うポジション適正をみる。</p>		
<p>キーファクター</p> <p>昨年度メンバーと新規推薦選手とを含めた再選考</p> <p>県トレ推薦選手の選考（決定は次回持越し）</p>						

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

T.Gの前半は対等に戦えたが、後半は体力的に低下しルーズな場面が増えた。

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	4	ブロック	U-14	日時	5月27日 13:00～16:00
担当	菊地 基			会場	スターナッツランド	
参加スタッフ	菊地 松本 泉 平塚					
テーマ	ボールコントロール 8人制T.G					
指導方法						
<p>順蹴FAが、クラブユースで不参加の為、スターナッツU-14の5名が、練習参加</p> <p>1.アップ 7m×7mのグリッド内に、24名で各足規制のドリブル、ローリング、リフティング。</p> <p>2.ボールフィーリング 10mの各種ドリブル 足の裏を使った個人技他</p> <p>3.応用 7m×3m内での1対1 10グリッドで入替りを実施</p> <p>4.T.G</p> <p>8人制 30分 3チームでの総当たり</p>				<p>密集へ持ち込んでから、スペースを探しながらキープする</p> <p>足の裏を使ったドリブル。ボールを晒してからスクリーニングするまでのタイミング及びスピード。ステップとリズムの反復。</p> <p>かわしてから、相手側のグリッドラインでボールを止める事</p> <p>上記のゲームでの応用。身体能力、スキル、適正を確認する。</p>		
<p>キーファクター ボールを扱う技術と、リズム。</p>						

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

技術の格差は少なくなっているが、体力、メンタル面での差が、まだ残る印象

県トレ推薦選手の選考

伊藤 耕平(順蹴FA) 押田 晃(ルキナス印西) 東郷 祥知(バリエンテ)

江原 諒(PBJ) 滝村 宝(スターナッツ)

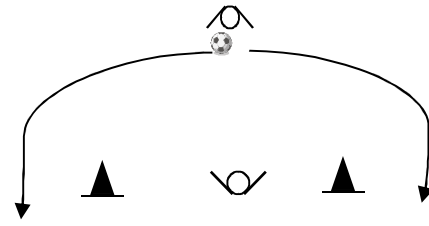
2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	4	ブロック	U-14	日時	10月28日 14:00～16:30
担当	菊地 基			会場	千葉県立幕張総合高校	
参加スタッフ	松本					
テーマ	T.G					
指導方法						
幕張総合高校、県トレバックアップメンバーとのTG				体力、スピード等が違う相手に対するの対応能力		
<p>キーファクター</p> <p>ハイプレスの中でのボールキープと対応力</p> <p>県トレ推薦選手の選考</p> <p>押田 晃(ルキナス印西) 飯泉 創(PBJ) 竹腰 陽(ルキナス印西)</p>						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	4	ブロック	日時	11月25日 13:00 ~ 16:30
担当	菊地 基			会場	千葉県立若松高校
参加スタッフ	松本				
テーマ	T.G				
指導方法					
県立若松高校とのTG			体力、スピード等が違う相手に対するの対応能力		
<p>キーファクター ハイプレスの中でのボールキープと対応力 身体能力の差がある中での戦い方</p>					

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

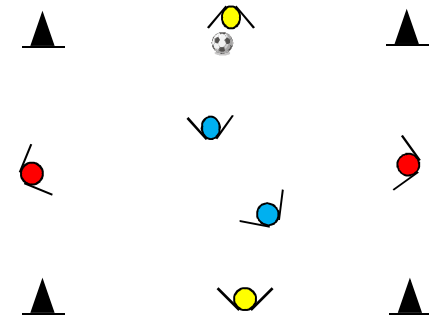
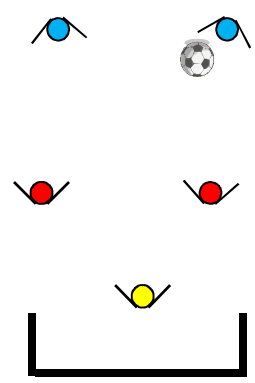
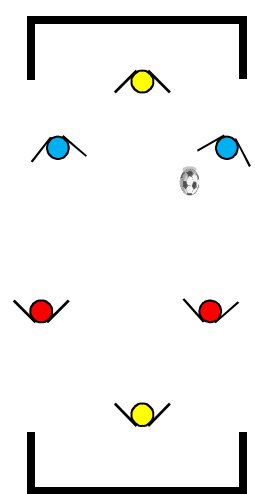
地区	第	5	ブロック	U-14	日時	4月22日 8:30 ~ 12:00	
担当	村田 篤史				会場	千葉市立みつわ台中学校	
参加スタッフ	村田・宮崎・鈴木・竹治・亀山・一木(生浜高)						
テーマ	1年間の確認、スペースを見つけ活用する。						
指導方法							
<p>1、 w-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョギング ・手押し相撲 ・ボールなしの1対1 (背中合わせでスタートし、OFが振り向いて、DFに捕まらないように裏に抜ける) ・2人組のグルーピング 2人組でリフティング ボールをパスしたら違うグループの所へ行き 2人組のリフティングを行う。 ・ストレッチ 				<p>2、 TR1 1VS1</p> <div style="text-align: center;">  </div> <p>OF側はコーンの外側をドリブルで抜けていく。 DF側は簡単に足を出して奪うのではなく、間合いを大切に、体を入れて奪うこと。</p> <p>途中から時間制限を設け、どちらが多く突破できるかを競う。</p> <p>3、 ロングキック</p>			
<p>4、 ゲーム</p> <p>9+GKの10人ゲーム 10分、4チーム総当たり</p> <p>普段よりスペースが多く空くので、早く見つけ、活用する。</p>							
<p>5、 2対2対2のボール回し(3色ビブス)</p> <p>ゲームをしていて、イージーなパスミスが多いことと攻守</p>							
<p>6、 ゲーム (4と同じルールで行う。) 10分1本</p>							
キーファクター							

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

・同日18時から県スポーツセンター科学センター研修室で保護者会を開きました。

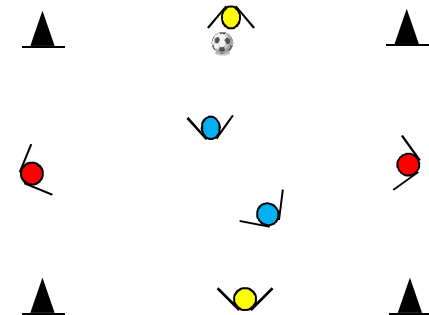
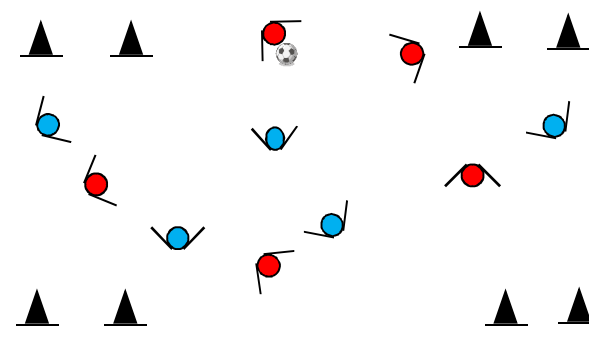
2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	U-14	日時	5月27日 8:00 ~ 11:00	
担当	村田 篤史				会場	千葉市立磯辺第二中学校	
参加スタッフ	村田・宮崎・鈴木・竹治・亀山・石渡(ファベルゼ)・宇田(アブレイズ)・小林(なのはな)・島田(幕張総合高)井上(千葉敬愛高)						
テーマ	攻守の切り替え・ゴールを意識したボールコントロール・ディフェンスの意識						
指導方法							
<p>1. w-up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ジョギング ・手押し相撲 ・ボールなしの1対1 (背中合わせでスタートし、OFが振り向いて、DFに捕まらないように裏に抜ける) ・2人組のグルーピング 2人組でリフティング ボールをパスしたら違うグループの所へ行き 2人組のリフティングを行う。 ・ストレッチ 	<p>2. TR1</p> <p style="text-align: center;">2VS2VS2 ボール回し 10Mグリット</p>  <p>4対2のボール回し。失った色がディフェンスに変わる。1回ずつ止まってセットせずに続け、攻守の切り替えを早くしていく。ボールを奪ったら、狭い所にボールを運ばず、空いているスペースに運び、ボールを回すことを意識する。</p>						
<p>3. TR2</p> <p style="text-align: center;">2対2+GK</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・仕掛けからのゴールの意識を高める。 ・DFはインターセプトを狙い、積極的にボールを奪いにいく。 	<p>TR3</p> <p style="text-align: center;">2対2 シュートゲーム</p>  <ul style="list-style-type: none"> ・2チームに分けてシュートゲーム。 先に11点取ったゲームの勝利 						
キーファクター							

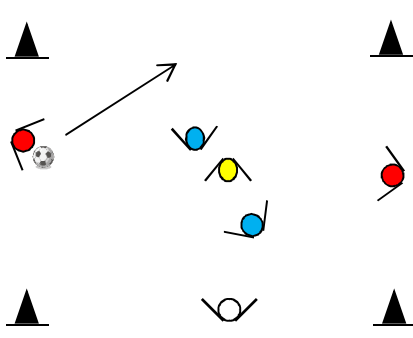
2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	U-14	日時	6月24日 8:30～13:00	
担当	村田 篤史				会場	千葉敬愛高校 内黒田G	
参加スタッフ	村田・宮崎・鈴木・竹治・高宮・石渡(ファベルゼ)・服部(なのはな)・井上(千葉敬愛高)						
テーマ	縦(ゴールへの意識)・インターセプト→ボールを簡単に失わない						
指導方法							
W-up				ゲーム			
テーマとコミュニケーションを意識したW-upを実施。				30分×5本 8月の滋賀遠征の選考を考え、最初の2本は滋賀遠征参加可能選手が出場。 3, 4本目は参加できない選手が出場。 上のカテゴリーとゲームをして、通用する部分としない部分を発見。これからのトレーニングに生かす材料として良い経験になった。			
キーファクター							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	U-14	日時	7月28日 14:30 ~ 17:00	
担当	村田 篤史				会場	フクダ電子スクエア	
参加スタッフ	村田・宮崎・鈴木・竹治・高宮・石渡(ファベルゼ)・服部(なのはな)・井上(千葉敬愛高)						
テーマ	見て判断する・攻守の切り替え						
指導方法							
W-up				2、 TR1 2VS2VS2 ボール回し 10Mグリット			
							
				4対2のボール回し。失った色がディフェンスに変わる。1回ずつ止まってセットせずに続け、攻守の切り替えを早くしていく。ボールを奪ったら、狭い所にボールを運ばず、空いているスペースに運び、ボールを回すことを意識する。			
3	TR2	5VS5		4ゴールゲーム			
				4 ゲーム 11VS11 15分回し			
横長のコートでサイドのゴールに向かう。空いているスペースやどこに動けば・運べば数的優位が作れるか等を見て判断する。ゴール方法をシュートだけでなくドリブル突破やゴールを通してワンツーに変えるなど工夫。パスゲームにならないように、空いたスペースの使い方に気をつけた。							
キーファクター							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	U-14	日時	11月25日 8:30 ~ 13:00
担当	村田 篤史			会場	みつわ台中学校	
参加スタッフ	村田・宮崎・鈴木・竹治・高宮・亀山・深山・佐々木・石渡(ファベルゼ)・服部(なのはな)					
テーマ	コミュニケーションの向上・マイボールを失わない。					
指導方法						
W-up				ゲーム		
				4チーム作り、20分で回す。ボールを簡単に失う傾向が見られた。狭いスペースに入り失うことや、サポートの位置が悪いことが多く、修正トレーニングを行った。		
2、	TR1	3+サーバーVS2 10Mグリット		4	ゲーム	
 <p>外の3人は自由に動いて良い。中にギャップに入るまたは空けるために動くプレイヤーを置く。DFはボールへチャレンジ&カバーだけでなく、中のサーバーも見なければならぬので難しかったよう。 外も、ただ動いてもうまいかないし、狭い方にボールを動かすと失う回数が多くなっていた。</p>				15分でトレーニングを意識してゲームを行った。		
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	U-14	日時	12月16日 8 : 30 ~ 13 : 0	
担当	村田 篤史				会場	中田球技場	
参加スタッフ	村田・宮崎・鈴木・竹治・高宮・亀山・深山・佐々木・石渡(ファベルゼ)						
テーマ	コミュニケーションの向上・マイボールを失わない。						
指導方法							
W-up				ゲーム			
				<p>30分×4本 岐阜遠征メンバー(18名)とバックアップメンバー(4名)のみの活動。京都遠征に行くU-15メンバーと現高3千葉市トレセンの卒業生とトレーニングマッチを行った。 15との対戦は、初めはスピードや判断等に戸惑いまったく自分たちのプレーができなかったが、DFからしっかり行う意識が芽生えた。また、慣れてきてからは落ち着いてプレーすることができ、攻撃面でも良い場面ができたり得点することができた。 卒業生との試合は好き勝手にやられたが、憧れる高校サッカーを経験した選手と対峙して、目標になったり、自分の足りないことに気づく良い機会になったようだ。</p>			
キーファクター							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	5	ブロック	U-14	日時	1月27日 8:30～13:00	
担当	村田 篤史				会場	市原スポレクパーク	
参加スタッフ	村田・宮崎・鈴木・竹治・高宮・石渡(ファベルゼ)・服部(なのはな)						
テーマ	「見る・伝える・選ぶ」の徹底・ピッチを広く使う選択肢を持つ						
指導方法							
W-up				<p style="text-align: center;">ゲーム</p> <p>30分×6本 第1ブロックTCと市原TCとのトレーニングマッチを行った。2月の交流戦の選手選考、14から15に上がるときの選考を兼ねていることを確認・伝達した。 ゲームの中でコンディションだけでなく、成長している選手がいたことが発見だった。特に岐阜遠征に行ったメンバーは堂々と落ち着いてプレーできていた。</p>			
キーファクター							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	U-14	日時	5月27日 13:00 ~ 16:00	
担当	逸見 俊也				会場	八千代市多目的グラウンド	
参加スタッフ	逸見						
テーマ	観る⇒プレイ選択						
指導方法							
<p>■ W-up ドリブル グリッドの頂点から中央ヘドリブルをしていき、中央でいろいろな切り返しからVの字にドリブルを繰り返す。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ルックアップ ・タイミング 				<p>■ コントロール & パス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこでもらうか ・持ち出すか・パスか ・ダイレクトは可能か などの判断を入れて行う。 <p>■ 1VS1</p> <p>オフenseは、グリッドの対角からボールをもらい、2辺どちらかを突破する。</p> <p>■ 4ゴール ゲーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・幅を使う ・1st Controlに意図を持つ 			
キーファクター							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	U-14	日時	6月24日 9:00 ~ 12:00	
担当	逸見 俊也			会場	船橋市立前原中学校		
参加スタッフ	逸見、秋原						
テーマ	観る⇒プレイ選択						
指導方法							
<p>■ W-up 鬼ごっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3色ビブス(6人×3グループ)と鬼3人 ・鬼にタッチされないように違う色で3人集まり、輪になりスクワット1回で得点。 ・ノルマ2分間で5点からスタートし、増やしていく。 ・条件を「同色」「奇数・偶数」などやりながら変更していく。 				<p>■ コントロール&パス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこでもらうか ・持ち出すか・パスか ・ダイレクトは可能か などの判断を入れて行う。 <p>■ 4 VS 2</p> <p>■ トレーニングマッチ</p> <p>VS 船橋市立前原中学校</p> <p>30分×4本</p>			
キーファクター							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	U-14	日時	10月28日 8:00～11:30
担当	逸見 俊也			会場	八千代市立村上中学校グラウンド	
参加スタッフ	逸見 俊也、伊澤 大輔					
テーマ	観る⇒プレイ選択					
指導方法						
<p>■ W-up 鬼ごっこ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3色ビブス(6人×3グループ)と鬼3人 ・鬼にタッチされないように違う色で3人集まり、輪になりスクワット1回で得点。 ・ノルマ2分間で5点からスタートし、増やしていく。 ・条件を「同色」「奇数・偶数」などやりながら変更していく。 				<p>■ コントロール&パス</p> <ul style="list-style-type: none"> ・どこでもらうか ・持ち出すか・パスか ・ダイレクトは可能か などの判断を入れて行 <p>■ 3 VS 2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GKのパンツからスタート ・DFの対応をによって突破か引きつけてからパスで展開するかを判断する。 <p>■ トレーニングマッチ</p> <ul style="list-style-type: none"> VS U-14八千代市選抜 VS 村上中 <p>30分×4本</p>		
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	U-14	日時	11月25日 9 : 00 ~ 12 : 30
担当	逸見 俊也			会場	船橋市立前原中学校グラウンド	
参加スタッフ	逸見、秋原、植草					
テーマ	自分のストロングポイントを出す					
指導方法						
<p>■ W-up 各自</p> <ul style="list-style-type: none"> ・選手の様子を見るために時間を決めて各自でウォーミングアップとした。 <p>【様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・所属チームごとになり、自分の良さを出すために周りを理解しようという姿勢が不足していた。 ・主体性を持って取り組む姿勢を求めている。 				<p>■ トレーニングマッチ</p> <ul style="list-style-type: none"> VS 前原中学校 VS 睦中学校 <p>20分×6本</p> <p>県トレに挑戦するために周りと連携を図りながら、自分の良さを出すことを求めた。</p>		
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	U-14	日時	12月16日 14:00 ~ 18:00
担当	逸見 俊也			会場	グラスポ	
参加スタッフ	逸見、植草、伊澤					
テーマ	プレッシャーの中でのプレイ					
指導方法						
<p>■ W-up</p> <p>①グリット内でいろんなステップとボディコンタクト</p> <p>②4vs2ポゼッション</p> <p>【様子】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・名前を確認しながらのボディコンタクトではコミュニケーションを自ら取ろうという選手が見られた。 ・ポゼッションでは、視野の確保が不十分でボールが来てからの判断になっていて、ボールの起き所も不安定になっていた。 				<p>■ トレーニングマッチ</p> <p>VS 市立船橋高校B</p> <p>30分×4本</p> <p>プレッシャーの中で判断を変えられる選手もいたが、多くはボールが来てからプレイが始まってしまいう傾向がみられた。また、戦術的な理解も不足していることが把握できた。例えば、DFのマークの受け渡しやサイドへの開きと絞りのタイミング、有効なダイレクトパスと有効なタメを創ったパスなど。</p>		
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	U-14	日時	1月27日 12:30 ~ 16:00
担当	伊澤 大輔			会場	千葉工業大学茜浜G	
参加スタッフ	逸見、植草、秋原、伊澤					
テーマ	2月交流会のメンバー選考					
指導方法						
<p>■ W-up</p> <p>①ランニング</p> <p>②いろんなステップとボディコンタクト</p> <p>③基礎練習</p>				<p>■ トレーニングマッチ</p> <p>VS Wings U-14</p> <p>30分×4本</p> <p>コミュニケーション不足によるチームのギクシャク感は未だにあり それを踏まえての選手選考</p>		
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	U-14	日時	2月 ²³ 日 9:00 ~ 15:00 24日 9:00 ~ 11:30			
担当	秋原 翔				会場	グラスポ			
参加スタッフ	秋原、植草								
テーマ	プレッシャーの中でのプレイ								
指導方法									
23日									
<p>■ W-up 各自</p> <p>①グリット内でいろんなステップ</p> <p>②ドリブルボールタッチやリフティング、パス回し</p> <p>【様子】</p> <p>・体を温めながら、試合に向けて主体的に考え動く選手が多数であった。</p> <p>・ボールコントロールについても、短い時間の中で、ゲームに向けて各個人が意識を高くもって取り組んでいた。</p>					<p>■ トレーニングマッチ</p> <p>VS 7ブロック</p> <p>VS 4ブロック</p> <p>VS 8ブロック</p> <p>20分×2本2を3試合</p> <p>相手チームのアプローチがゆるい部分もあり、楽にボールを持てる場面が多かった。仕掛でのドリブルは有効に使えており、何度か決定的な場面を作り出せていた。ただ、その中で周りが“関わり”を持って、考えて動く事は難しかった。ディフェンスにおいては、マークの受け渡し、カバーリングは個々の意識でできる、できないがはっきりしていた。積極的に声を出して統率する選手は見られなかった。</p>				
24日									
<p>■ W-up</p> <p>①グリット内でいろんなステップ</p> <p>②ドリブルボールタッチやリフティング、パス回し</p> <p>【様子】</p> <p>・体を温めながら、試合に向けて主体的に考え動く選手が多数であった。</p> <p>・ボールコントロールについても、短い時間の中で、ゲームに向けて各個人が意識を高くもって取り組んでいた。</p>					<p>■ トレーニングマッチ</p> <p>VS 5ブロック</p> <p>35分×2本を1試合</p> <p>相手チームのプレスが早く、ポゼッションができる時間は短かった。ただ、昨日同様、仕掛でのドリブルは有効に使えており、何度か決定的な場面を作り出せていた。ただ、その中で周りが“関わり”を持って、考えて動く事は難しかった。ディフェンスにおいては、マークの受け渡し、カバーリングは個々の意識でできる、できないがはっきりしていた。積極的に声を出して統率する選手は見られなかった。</p>				
キーファクター									

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	6	ブロック	U-13、14	日時	3月17日 8 : 00 ~ 12 : 00	
担当	逸見 俊也			会場	習志野高校		
参加スタッフ	U-13:前田 U-14:逸見、秋原、伊澤						
テーマ	プレッシャーの中でのプレイ						
指導方法							
23日 ■ W-up 各自 ①グリット内でいろんなステップ ②3vs1ポゼッション ③ポゼッション 【様子】 ポゼッションでは、視野の確保が不十分でボールが来てからの判断になっていて、ボールの置き所を考えさせながら行った。				■ トレーニングマッチ VS 習志野高校C 30分×4本 プレッシャーの中で判断を変えられる選手もいたが、多くはボールが来てからプレイが始まってしまう傾向が見られた。また、戦術的な理解も不足していることが把握できた。			
キーファクター							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	7	ブロック	U-14	日時	5月27日 12:50 ~ 16:30
担当	廣瀬純也(野田一中)				会場	野田市立第一中学校
参加スタッフ	廣瀬(一中)・団上(北部中)・田中(柏マイティー)					
テーマ	ゲームの中で多くの選手(65名)を見て、どんな選手がいるか情報を得て7ブロックの選手の実態をつかむ。自立心を養う運営を心がける。					
指導方法						
<p>① 集合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめチーム分けをした名簿を作成しておく。 ・名簿にはピブスの色分けと番号を明記。 ・キャプテンを1名指名し、その選手にピブスの配布 <p>チームでのウォーミングアップ、審判割りを任せ、対戦表を預ける。</p> <p>② 対戦表に沿ってゲームを選手達が主体となって運営していく。(途中コーチからの指示等はしない)</p> <ul style="list-style-type: none"> *ゴールキーパーは8名集まったので団上ゴールキーパーコーチからトレーニングを受ける。 *フィールドプレーヤーは一人25分を2本全員が同じ時間で行った。 *ポジションやフォーメーションはキャプテンを中心に自分たちで決めさせた。 <p>③ けが人もなく無事終了。チームごとにクールダウンをしっかりと行い、着替えて集合した。</p> <ul style="list-style-type: none"> *ここまでコーチの全体への指示は一切無し。 選手達は今日知り合った仲間達と半日しっかりと取り組んだ。 			<p>☆ゲームでは、個人技を見る事を選手達に話しておく。</p> <p>☆スタッフは、ボールコントロール(ファーストタッチ・ドリブル)と自分の体に対するボールの置き所(ファーフット)を見ながら選手の良い点をチェックし25名を今回選び、6月のトレセンデーに4ブロックとトレーニングマッチを行う予定でいる。</p> <p>☆今回選んだ選手だけで今後活動していくということではない。</p>			
<p>キーファクター 自立心・個人技・ドリブル・ファーフット・ボールの置き所</p>						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	7	ブロック	U-14	日時	6月24日 8:30 ~ 14:30	
担当	廣瀬純也(野田一中)				会場	野田市立第一中学校	
参加スタッフ	廣瀬(一中)・団上(北部中)・田中(柏マイティー)						
テーマ	他ブロックとのトレーニングマッチで選抜した選手(24名)を見て、どんなプレーができるのか情報を得て7ブロックの選手の実態をつかむ。自立心を養う運営を心がける。						
指導方法							
<p>① 集合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめチーム分けをした名簿を作成しておく。 ・名簿にはユニフォーム分けと番号を明記。 ・キャプテンを1名指名し、その選手にユニフォームの配布チームでのウォーミングアップを任せる。 <p>* ゼムノビッチ氏から選手達にアドバイス。 (勇気をもってたくさんチャレンジしなさい。) (技術が大事)</p> <p>② 4ブロックとの対戦 30分を5本行った。(ひとり30分を3本)</p> <p>* ポジションやフォーメーションはキャプテンを中心に自分たちで決めさせた。</p> <p>③ けが人もなく無事終了。チームごとにクールダウンをしっかりと行い、着替えて集合した。</p>				<p>☆ゲームでは、個人技を見る事を選手達に話しておく。</p> <p>☆スタッフは、ボールコントロール(ファーストタッチ・ドリブル)と自分の体に対するボールの置き所(ファーフット)を見ながら選手の良い点をチェックした</p> <p>☆今回選んだ選手だけで今後活動していくということではない。</p>			
<p>※ゼムノビッチ氏に県トレセンに推薦してもらった2名</p> <p>高橋 良太 <たかはし りょうた> (柏エフォート)</p> <p>池田 拓海 <いけだ たくみ> (クラブドラゴンズ柏)</p>				<p>ゼムノビッチ氏と指導者の話</p> <p>・ジュニアユース年代の育成で大切な指導者のたちい振る舞い指導する際の指導者のスタンス。 指導者が成長すれば選手も成長する。</p>			
<p>キーファクター 自立心・個人技・ドリブル・ファーフット・ボールの置き所</p>							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	7	ブロック	U-14	日時	10月28日 8:30～12:00	
担当	廣瀬純也(野田一中)				会場	野田市立第一中学校	
参加スタッフ	廣瀬(一中)・団上(北部中)・田中(柏マイティー)						
テーマ	招集した78名の選手が、どんなプレーができるのか情報を得て7ブロックの選手の実態をつかむ。自立心を養う運営を心がける。						
指導方法							
<p>① 集合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめチーム分けをした名簿を作成しておく。 ・名簿にはユニフォーム分けと番号を明記。 ・キャプテンを1名指名し、その選手にユニフォームの配布チームでのウォーミングアップを任せる。 <p>* 各地域、クラブから推薦された78名を招集53名が参加。 (勇気をもってたくさんチャレンジしなさい。) (技術が大事) と指示を出し紅白戦を行う。</p> <p>② 県トレスタッフより堤誠太郎先生が視察。 県トレへの推薦候補セレクトを依頼。</p> <p>* ポジションやフォーメーションはキャプテンを中心に自分たちで決めさせた。</p> <p>③ けが人もなく無事終了。チームごとにクールダウンをしっかりと行い、着替えて集合した。 * 中体連の選手に技術があって良い選手、伸びてきた選手がいた。</p>				<p>☆ゲームでは、個人技を見る事を選手達に話しておく。</p> <p>☆スタッフは、ボールコントロール(ファーストタッチ・ドリブル)と自分の体に対するボールの置き所(ファーフット)を見ながら選手の良い点をチェックした</p> <p>☆今後、後伸びしてきた中体連の選手に注目したい。</p>			
<p>※堤先生には、他地域よりレベルの高い選手が多いという話しをいただいた。</p> <p>※堤先生に県トレセンに推薦してもらった3名</p> <p style="padding-left: 20px;">石川篤哉(クラブドラゴンズGK)</p> <p style="padding-left: 20px;">小林崇雅(クラブドラゴンズMF)</p> <p style="padding-left: 20px;">飯田将司(久寺家中学校MF)</p>							
<p>キーファクター 自立心・個人技・ドリブル・ファーフット・ボールの置き所</p>							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	7	ブロック	U-14	日時	11月25日 8:00～12:00	
担当	廣瀬純也(野田一中)				会場	野田市立第一中学校	
参加スタッフ	廣瀬(一中)・団上(北部中)・田中(柏マイティー)						
テーマ	招集した80名の選手が、どんなプレーができるのか情報を得て7ブロックの選手の実態をつかむ。自立心を養う運営を心がける。						
指導方法							
<p>① 集合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめチーム分けをした名簿を作成しておく。 ・名簿にはユニフォーム分けと番号を明記。 ・キャプテンを1名指名し、その選手にユニフォームの配布チームでのウォーミングアップを任せる。 <p>* 各地域、クラブから推薦された80名を招集55名が参加。 (勇気をもってたくさんチャレンジしなさい。) (技術が大事) と指示を出し紅白戦を行う。</p> <p>② 毎年7ブロックでは市船招待に中体連U-14で参加 今回その選手選考を兼ね中体連の選手を多く見た。 また、クラブ所属の選手との力をはかる機会にもなった。</p> <p>③ けが人もなく無事終了。チームごとにクールダウンを しっかりと行い、着替えて集合した。 * 中体連の選手に技術があって良い選手、伸びてきた選手がいた。</p>				<p>☆ゲームでは、個人技を見る事を選手達に話しておく。</p> <p>☆スタッフは、ボールコントロール(ファーストタッチ・ドリブル)と自分の体に対するボールの置き所(ファーフット)を見ながら選手の良い点をチェックした</p> <p>☆今後、後伸びしてきた中体連の選手に注目したい。</p>			
<p>※今回県トレセンに推薦したい選手</p> <p style="text-align: center;">宮坂昂輝(みやさか こうき) 柏レイソルAA TOR</p>							
<p>キーファクター 自立心・個人技・ドリブル・ファーフット・ボールの置き所</p>							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	7	ブロック	U-14	日時	12月16日 8:00～12:00
担当	廣瀬純也(野田一中)			会場	野田市立第一中学校	
参加スタッフ	廣瀬(一中)・団上(北部中)・田中(柏マイティー)					
テーマ	招集した80名の選手が、どんなプレーができるのか情報を得て7ブロックの選手の実態をつかむ。自立心を養う運営を心がける。					
指導方法						
<p>① 集合</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらかじめチーム分けをした名簿を作成しておく。 ・名簿にはユニフォーム分けと番号を明記。 ・キャプテンを1名指名し、その選手にユニフォームの配布チームでのウォーミングアップを任せる。 <p>* 各地域、クラブから推薦された80名を招集55名が参加。 (勇気をもってたくさんチャレンジしなさい。) (技術が大事) と指示を出し紅白戦を行う。</p> <p>② 毎年7ブロックでは市船招待に中体連U-14で参加 今回その選手選考を兼ね中体連の選手を多く見た。 また、クラブ所属の選手との力をはかる機会にもなった。</p> <p>③ けが人もなく無事終了。チームごとにクールダウンを しっかりと行い、着替えて集合した。 * 中体連の選手に技術があって良い選手、伸びてきた選手がいた。</p>						
<p>※今回県トレセンに推薦したい選手</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 宮坂昂輝(みやさか こうき) 柏レイソルAA TOR ・ 山崎圭介(やまざき けいすけ) 我孫子中 ・ 千葉大実(ちば ひろみ) 白山中 						
<p>キーファクター 自立心・個人技・ドリブル・ファーフト・ボールの置き所</p>						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	8	ブロック	U-14	日時	4月22日 9:00～12:00
担当	後藤 拓真			会場	浦安市立富岡中学校	
参加スタッフ	後藤(富岡中) 山田(市川四中) 鈴木(堀江中) 宮村(三井東葛JY)					
テーマ	ゴールを意識する ①シュートを打てる状況を作ろう					
指導方法						
<p>今回は、昨年度召集していたメンバーに新たに4名を追加し、選考を兼ねて、浦安中学校Aチームとトレーニングマッチを行った。浦安中学校は個人のスキル、身体能力が非常に高く、個あるいはグループによる打開を適切に選択することが重要になると考えた。</p> <p>昨年度は「良い判断をしよう」のテーマのもとトレーニングを行い、一定の成果は得られたが、非常に幅が大きく、手広く行った感が否めなかった。そこで今年度は「良い判断をしよう」をベースに、より具体化させ、「ゴールを意識する」をテーマとして設定した。さらに、サブテーマをシュートを打つためにどのような判断・プレーが必要か考えとし、選考の基準とした。</p> <p>フィジカルで勝る相手に対して、どのようなアイデアでシュートまで持ち込むのか、個々にスタッフからアドバイスを受けながらゲームを行った。</p> <p>ゲームではゴール前で前を向くという意識は醸成できたのではなかと考える。シュートチャンスを多く作り出すことができている。しかし1対1の勝負では身体的な部分で有利な状況を作り出すことができなかった。その際のアイデアとして選択肢が乏しいと感じる。ポジションを流動的に変化させてみたり、フリーになるためのオフの動きがないなど工夫が少なかった。</p> <p>今後「ゴールを目指す」ために必要なプレー・意識を具体的に考えることができるトレーニングを追加していきたい。</p>						
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	8	ブロック	U-14	日時	5月27日 9:00 ~ 12:00	
担当	後藤拓真(富岡中)				会場	千葉県立市川東高等学校	
参加スタッフ	後藤(富岡中) 山田(市川四中) 宮村(三井東葛JY) 石井(市川東高)						
テーマ	ゴール・シュートを意識したファーストタッチをしよう						

指導方法

<p>W-UP</p> <p>① リフティング⇒大きく上げてスペースへ大きくトラップ <small><コール></small> ※トラップ前にルックアップしてみよう ※トラップは前だけじゃないよ！後ろも見てみよう</p> <p>② ストレッチ</p> <p>③ 2人1組でトラップ練習</p> <p>③ 3人1組でトラップでターン⇒シュート</p>	<p>TR② ファーストタッチを意識した攻撃 (3対2)</p>
---	---

<p>TR① 良いファーストタッチからシュートまで</p>	<p>TR③</p> <ul style="list-style-type: none"> ・今日のトレーニングを意識してゲーム ・30×3 フルコート(11VS11) <p>Key</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボールを受ける前にLook up! ・ボールを受けたらまずシュートをイメージ! <p><small><コール></small></p> <ul style="list-style-type: none"> ・シュートチャンスをたくさんつくろう! ・前を向いている味方を使ってあげよう! ・トラップはスピードに乗って大きく前にタッチ!
--------------------------------------	--

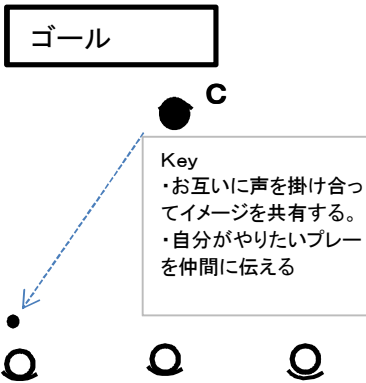
キーファクター:シュートをイメージ

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

第8ブロックの昨年度からの課題である、イメージのないトラップやキープによって、攻撃がストップし、ボールを奪われてしまう課題の改善に取り組んでいる。各チームに課題を持ち帰り、個人のスキルアップをしてきてほしいと伝えている。

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	8	ブロック	U-14	日時	7月30日 9:00 ~ 12:00	
担当	後藤 拓真(富岡中)			会場	富岡中学校		
参加スタッフ	後藤(富岡中) 宮村(三井東葛JY)						
テーマ	積極的にコミュニケーションをとろう						
指導方法							
<p>W-UP</p> <p>①リフティング ・体のいろいろな箇所を使ってみよう</p> <p>②パス&ゴー ・相手の名前をコールして ・パスを受ける前に必ず要求しよう</p> <p>③4人のイメージの共有</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p style="font-size: small;">て人が動 とがきお けおろ C互から のい攻 らロン グボ ール を 受</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;"> <div style="border: 1px solid black; display: inline-block; padding: 2px 10px;">ゴール</div>  </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 5px;"> <p style="font-size: x-small;">Key</p> <ul style="list-style-type: none"> ・お互いに声を掛け合っ てイメージを共有する。 ・自分がやりたいプレー を仲間に伝える </div> </div>				<p>トレーニングマッチ (対戦相手:市川一中) 25m'×4</p> <p><トレーニングマッチでのテーマ></p> <p>①積極的なプレーをしよう ・年間のテーマである「ゴールを目指す」のために 自分の長所を積極的に出していくこと。</p> <p>②自分を生かすためにコミュニケーション ・仲間とたくさんコミュニケーションをとって自分の 得意なプレーを理解してもらう。 ・お互いが良い面を引き出さう</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin-top: 20px;"> <p>今回の対戦相手である市川一中は、市川浦安支 部ではベスト16に入るチームである。またU-1 5 世代も残留しており、フィジカル・技術的にも現在の チームの力を図るうえで最適であると考えた。 チームは2チーム編成とし、ポジションは各チ ーム で考えさせ、専門以外のポジションでプレーする 中で、自分の長所を出すためにコミュニケーション が必要な ことを理解させることをねらいとした。 ゲームでは、コミュニケーションをとれる選手が少 なく、呼吸が合わずにパスミスを繰り返す場面が多 かった。 1本目が終了したのち、スタッフよりアドバイス。 2本目以降は各人が要求の声を出すことによ</p> </div>			
キーファクター							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	8	ブロック	U-14	日時	8月 ⁸ / ₉ 日 13:00 ~ 18:30
担当	後藤 拓真(富岡中)			会場	マリノスタウン	
参加スタッフ	後藤(富岡中)					
テーマ	横浜招待中学校サッカー大会					
指導方法						
<p>主催 横浜市中学校体育連盟サッカー専門部</p> <p>参加チーム 横浜トレセン、横須賀・三浦トレセン、市川・浦安トレセン、横浜Fマリノス、湘南ベルマーレ</p> <p>大会形式 5チーム総当たり戦 25分-10分-25分</p>						
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	8	ブロック	U-14	日時	10月28日 9:00 ~ 12:00	
担当	後藤 拓真(富岡中)				会場	富岡中学校	
参加スタッフ	後藤(富岡中) 宮村(三井東葛JY) 鈴木(堀江中)						
テーマ	守備意識を高める						
指導方法							
<p>○第8ブロックトレセンU-14 10月トレーニング内容</p> <p>これまで「ゴールを目指す」を年間のテーマとして活動を行ってきた。その成果として、選手が意識的にファーストタッチで仕掛けることができるようになったこと、また選択肢の中にシュートを持たせることができはじめたことが挙げられる。課題として、オフの際に献身的・効果的なフリーランニングによる味方へのスペース作りができないこと、そのためのコミュニケーションが取れていないことが残った。また攻撃に意識が行くあまり、守備ができない選手が目立っている</p>				<p>内容</p> <p>①紅白戦 30'm×4</p> <p>②トレーニングマッチ 25'm×4</p> <p>紅白戦では、守備を意識すること、コミュニケーションをとることを目的としようと伝え、ゲームを行った。新規追加選手も参加したため、お互いに積極的にコミュニケーションを取ろうとする意識が感じられた。しかし、守備に関しては、個々でのプレスが弱く、連動性を持たせることができなかった。</p> <p>※紅白戦30'm×2後に全体にアドバイス ○個の守備で自分が対面する相手に顔を上げさせないような守備を徹底</p> <p>○この守備で相手の攻撃を遅らせたら、コミュニケーションをとって人数をかけて奪おう</p> <p>○後ろからの声掛けで、狙いどころをしぼろう</p> <p>後半のゲームでは、上記の点は大きく改善された。選手たちがハードワークし、フィジカル面での接触が増えた。またそのために攻撃側の球離れが早くなり、全体的にスピードアップしたゲーム展開となった。</p> <p>次回以降、再度新規に選手を招集する予定となっている。来年度に向けてチーム作りに力を入れていく</p>			
キーファクター							

2011CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	8	ブロック	U-14	日時	11月25日 9:00～12:00
担当	後藤 拓真(富岡中)			会場	明海中学校	
参加スタッフ	後藤(富岡中) 宮村(三井東葛JY) 鈴木(堀江中) 山田(市川四中)					
テーマ	良い準備をする					

指導方法

○第8ブロックトレセンU-14

11月トレーニング内容

- ①千葉県立市川東高校とのトレーニングマッチ
30' × 3
- ②浦安市立明海中学校とのトレーニングマッチ
25'm × 3

<評価>

初めて高校生とのゲームを行った。今回のテーマは、当たりやスピード、高さといったフィジカル面で差のある相手に対して、いかに判断のスピードやポジショニング、体の使い方を工夫して、ゴールを目指していくかをプレーしながら考えていくことであった。2本目まで終えて、やはりフィジカル的に不利なことで、失点を重ねてしまった。準備はできていてもスピードに対応できなかったり、間に合っても競り負けてしまう。これが選手のプレーに消極性を生んでしまった。

※ハーフタイムにアドバイス

- ・相手を怖がって簡単に近いパスを選択していること
- ・全体のプレー位置が低くなっていること
- ・自分たちが思っているよりは、戦えているか、もっと自信を持って高い位置にポジションを取ろう。

後半以降は、局面で競り負けることはあるものの、顔が上がりコートを広く使った効果的な攻撃につなげることができた。

全体的として、2学年以上のフィジカル・スキルの差を経験できたことは選手にとって非常に有意義であった。その中でも個々で課題を見つけることができたとともに、ストロングポイントも見つかった。今後長所を理解させて、生かすプレーができるよう指導していきたい。

キーファクター

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	8	ブロック	U-14	日時	12月16日 9:00 ~ 12:00
担当	後藤 拓真(富岡中)			会場	松戸市立小金北中学校	
参加スタッフ	藤(富岡中) 宮村(三井東葛JY) 鈴木(堀江中) 山田(市川四中) 石井(市川東)					
テーマ	ゴールへの意識を高める					
指導方法						
<p>○第8ブロックトレセンU-14 12月トレーニング内 容 ・松戸の中体連トレセンとの トレーニングマッチ</p>				<p>内容 ・トレーニングマッチ 25'm×6</p> <p><評価> 今回は松戸市内の中体連(U-14)とのトレーニングマッチを行った。松戸中体連は、熱心なスタッフの先生方によってよく指導されており、ハードワークを厭わない非常にアグレッシブなチームであった。個々の技術も高く、第8ブロックトレセンにとってはそのような相手に対してどう対峙していき、尚且つゴールを目指していくのかがテーマとなった。 前線から積極的なアプローチがあり、開始直後は慌てた場面があったが、徐々に対応していく。最終ラインからのビルドアップの際に、サイドバック、ボランチができるだけ高いラインに入ってボールを受けるよう意識した。怖がらず積極的なポジショニングを取り、前を向くことでゴールに体を向けることができると考えた。 どの選手もこれまでトレーニングで意識付けしてきたことを実践しようという姿勢が見られた。前回の高校生とのゲームの反省を生かして、積極的にテーマにアプローチできていた。</p>		
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第 8 ブロック U-14	日時	1 月 27 日 12 : 0 ~ 16 : 0
担当	後藤 拓真(富岡中)	会場	浦安市高洲球技場
参加スタッフ	後藤(富岡中) 宮村(三井東葛JY) 山田(市川四中) 井上(敬愛学園)		
テーマ	地域交流戦へ向けての選手選考		
指導方法			
<p>○第8ブロックトレセンU-14 1月トレーニング内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ブロック内で紅白戦 ⇒地域交流戦のメンバー選出 	<p>内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・トレーニングマッチ 25'm×6 <p><評価></p> <p>2月に行われる交流戦に向けてブロック内を2チームに分けてトレーニングマッチ 県トレへの推薦選手の発掘</p> <p>○これまで取り組んできたことを生かそう</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ゴールのためのプレー ・ハードワーク ・コミュニケーション ・自信を持って技術を生かす <p>どの選手も1年前と比較すると体つきはもちろんであるが、技術、そして意識に向上が見られた。</p> <p>1対1の場面では積極的に仕掛け、ゴールを目指していた。ややサイドの使い方やタイミングが悪いシーンも見られたが、特に中盤ではお互いがハードワークし合い、自信を持って高い位置でボールを動かそうとしていた。</p> <p>2ここから月に向けて選手をピックアップして交流戦に臨む。</p>		
キーファクター			


2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	8	ブロック	U-14	日時	2月 ²³ / ₂₄ 日 8:00 ~ 20:00	
担当	後藤 拓真(富岡中)				会場	グラスポ法典	
参加スタッフ	後藤(富岡中)、宮村(三井東葛JY)						
テーマ	千葉FA交流戦／船橋交流ジュニアユースサッカー大会						
指導方法							
<p>○第8ブロックトレセンU-14の選手を2チーム編成し、交流戦と船橋交流大会にそれぞれ参加</p> <p>①千葉FA交流戦</p> <p style="padding-left: 20px;">松戸方面の選手中心のメンバー編成</p> <p>②船橋交流ジュニアユースサッカー大会</p> <p style="padding-left: 20px;">市川浦安の選手中心のメンバー編成</p>							
<p>キーファクター</p>							

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	第	8	ブロック	U-14	日時	3月 ¹⁶ / ₁₇ 日 8:00 ~ 15:00
担当	後藤 拓真(富岡中)			会場	国府台SC	
参加スタッフ	後藤(富岡中) 山田(市川四中) 鈴木(堀江中)					
テーマ	市川浦安トレセン招待サッカー大会					
指導方法						
<p>主催 市川市サッカー協会</p> <p>参加 Aブロック 流山トレセン・横浜トレセン・市川浦安トレセン Bブロック 印旛トレセン・城東トレセン(東京都)・千葉県中体連トレセン</p> <p>VS 流山トレセン VS 横浜トレセン VS 印旛トレセン</p>						
キーファクター						

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ(セカンド)	U-14	日時	5月27日 10:00 ~ 12:00
担当	南 暁男(南流山中)	会場	東京学館高校グラウンド	
参加スタッフ	山中、村田、池田、八木、山口、山崎			
テーマ	「1年間の方向性を確認しよう」「何でもできる選手になるために、まずボールを「持てる」選手になろう」			
指導方法				
<p>W-UP</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フリードリブル 2. ストレッチ 3. リフティング <p>体の向きは変えずに、前後左右に動きながら</p> <p>20m</p>	<p>TR 2 ボールキープ&ドリブル</p>  <p>→ハードワーク →ハイプレッシャーの中でも、 正確な技術を発揮して、ボールを「持つ」</p>			
<p>TR 1</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. リフティング <ul style="list-style-type: none"> • 途中でインステップ、アウトサイド地面に接地させた状態でボールを当てて続けるなど • 頭乗せ、首乗せ、肩乗せの連続 2. フリードリブル (グリット17×10) <ul style="list-style-type: none"> • 足元のタッチの種類を増やす。 • ペンギン、ローリング、裏通し限定 	<p>TR 3</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 4対4+GK (35m×25m) 2. 8対8+GK (60m×40m) <p>→ゴールを見る姿勢 →ハードワーク</p>			
キーファクター				

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ(セカンド)	U-14	日時	6月24日 9:00 ~ 13:00
担当	南 暁男(南流山中)		会場	柏中央高校グラウンド
参加スタッフ	山中、村田、池田、八木、山口、山崎			
テーマ	「何でもできる選手になるために、まずボールを「持てる」選手になろう」(ゲームを通じたセレクション)			
指導方法				
<p>W-UP</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. フリードリブル、ショートパス 名前を呼び合いながら 2. ストレッチ 3. ショートダッシュ 		<p>TR2</p> <p>ゲーム2</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ もっとOFFの動きを意識するように指示(20分×3本) 		
<p>TR1</p> <p>ゲーム1</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 参加人数28名を(GK2人)を3チームに分けてトレーニングゲームを行った。(20分×3本) 特に指示は出さずに行った。 		<p>TR3</p> <p>クールダウン</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ ジョグ ・ ストレッチ 		
キーファクター				

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ(セカンド)	U-14	日時	9月23日 12:00 ~ 15:00
担当	南 暁男		会場	順天堂大学さくらキャンパス
参加スタッフ	南 暁男 ・ 池田守人 ・ 山中謙太郎			
テーマ	「個」の発揮			
指導方法				
<p>・関東リーグ(対 埼玉県) (1-5 前半1-0 後半0-5)</p> <p>・立ち上がりは千葉県ペース。ゲームを支配し、いいリズムでゴールに迫る。昼間が得点后、ディフェンスが緩み始める。後半は失点后、足が止まり始め、残り10分で立て続けに失点する。</p>				
キーファクター				

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

1. 今日のゲーム展開で、選手の「メンタル面の弱さ」が明らかになった。ハーフタイム、ゲーム後のアドバイスは、その部分を中心に行った。おとなしい選手が多く、ゲーム中の口数が少ないのも、原因の一つ。昨年から継続のメンバーが多いので、コミュニケーションの問題はそんなに多くはないと考えるが、この部分も次回、TRで高めていく必要があると感じた。

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ(セカンド)	U-14	日時	10月28日 12:00 ~ 15:00
担当	南 暁男		会場	順天堂大学さくらキャンパス
参加スタッフ	南 暁男 ・ 池田 守人 ・ 山中 謙太郎			
テーマ	「個」の発揮 ディフェンス			
指導方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・関東リーグ(対 JEF) ・参加選手21名(GK3名 FP18名) ・フィジカルで圧倒するJEFに対し、終始ペースを握られ、最後はスピードとパワーでやられてしまうという展開。 				
キーファクター				

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

1. 「個」の強化とはいいつつも、やはりこのレベルであれば、ある程度戦い方やシステムなどへの理解は必要だし、それに対応する力を養わなければならないと考える。その意味で、今回初めて、ゲーム途中でシステムの変更を行ったが、それに対応できなかった選手が2～3名いた。あとで会話すると、「今までこのシステム(ポジション)をやったことがないので、戸惑った」という。先に話をしてから送りだしたのに、この状況にある選手もいた。自分のストロングポイントのみを磨く、もっと言うと、それ以外の部分は普通のトレーニングの中であまり指摘されていない、または自分の不得意なところはやらされていない可能性もある。JSCの梅津の言葉は、「いつもは4-5-1の右サイドハーフで、外に張っている。もうずっとこの形で、それ以外はやっていない」となる。こういった部分の修正(より様々な経験をさせる)のも、県トレの意味であると、改めて思った。ただし、ゲームそのものは、当然システムチェックにはならず、厳しいものにはなってしまうが。
2. 関東リーグ2試合目となるが、「個」のアイデア、としては、よいものが表れたと思う。やはり、W-Upからの一貫したテーマの浸透性が必要であると実感した。しかしながら、スタッフはなかなかこの統一が図れず、自分も表現が難しく、課題である。

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ(バックアップ)	U-14	日時	10月28日 : ~ :
担当	村田(カナリーニョ)		会場	幕張総合高校
参加スタッフ	村田(カナリーニョ) 池田(レイソル流山) 山口(薬園台高校) *茶木(FUEL鎌ヶ谷)			
テーマ				
指導方法				
<p>TRM 幕張総合高校1年生 第4ブロックU-14トレセン 県トレセンバックアップ 3チームで20分総当たりのゲームを2回行いました。</p> <p>1本目 幕張総合高校 0 VS 0 県トレU-14 2本目 第4ブロック 0 VS 0 県トレU-14 3本目 幕張総合高校 1 VS 0 県トレU-14 1本目 第4ブロック 0 VS 0 県トレU-14</p> <p>関東トレセンリーグに参加している選手とバックアップメンバーとの相乗効果を得るために選手の入替えを視野に入れゲームで選考すると位置づけた活動でした。選手全員が高いモチベーションでゲームに取り組み、点差では確認できませんが非常に充実した活動となりました。</p> <p>その中で、関東トレセンリーグメンバーへの昇格ということでセンターバック、DFの良い中盤選手、GKを入れ替えたいという事でしたのでバックアップから3名推薦致しました。また、第4ブロックからも能力の高い選手が2名いましたので次回から県トレバックアップに派遣して頂きます。</p> <p>*茶木さんは現役時代一緒にプレーしていた方で、8月にFUEL鎌ヶ谷に来られたということでお手伝いして頂くように私がお願いしました。プロの現場で経験されている方ですので選手にも刺激を与えられると思います。是非、GKプロジェクトの方で承認頂ければと思います。</p>				
キーファクター				

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ(セカンド)	U-14	日時	11月25日 12:00 ~ 14:00
担当	南 暁男		会場	マリノスタウン
参加スタッフ	南 暁男 池田守人 山中謙太郎 (山田雅一)			
テーマ	「個」のアイデア・ディフェンス			
指導方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・関東リーグ(対 マリノス追浜) (0-7 前半0-2 後半0-5) ・参加選手19名 (GK3名 FP16名) ・テーマは前回と同じく、攻撃面での「個」の発揮と、ディフェンスの強化。 ・立ち上がり早々に、サイドバックがボールを奪われ、そこから失点。その後も、終始マリノスが圧倒。スピードに乗った攻撃と、厳しい守備で、全く何もできずに、ゲームを終了。 				
キーファクター				

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

1. 今回最も難しいと感じたのは、スタッフ間の意識の統一。詳しいことはここでは述べられないが、大きな課題が残る。その差異を大きく我々が子供たちの前であらわしたわけではないが、子供たちは敏感に感じていると思う。今日の結果は、このことが左右している部分もあると思う。
2. ディフェンス面では、引き続き改善されない状況が続く。今日のように、スピードとパワーでくる相手に対しては、完全に心がなえてしまう。ハーフタイムで励まして出しても、ゲーム中での励まし合いが生まれないので、後半は完全に足が止まる。今後の指導方針の一つとして、取り上げていくべき事柄である。
3. 2に対する改善策として、チームとしてのコンセプトの落とし込みのためのTRを、マッチデー以外に行うことも考えるべきことである。総じて、ディフェンス面については、どの選手も考えが甘く、おそらくは日頃の(自分のチームでの)習慣であると考え。そこを合わせていくためには、TRが必要である。今後、考えて、提案していきたい。
4. 選手については、これまでの招集した選手の中に目立つ選手はいなく、どの選手を使ってもそんなに大きく変わることがない。特にディフェンスについては、そもそもブロックから県に上がってくる選手が多くなく、県全体として不足ではないか。これも、県全体の育成の課題として、考えていくべきであろう。

2012CFAアカデミー トレーニングメニュー

地区	県トレ(セカンド)	U-14	日時	12月16日 12:00 ~ 15:00
担当	南 暁男		会場	神栖市谷田部サッカー場
参加スタッフ	南暁男・山中謙太郎			
テーマ	「個」の育成・ディフェンスの強化			
指導方法				
<ul style="list-style-type: none"> ・関東リーグ(対 茨城県TC) (0-2 前半0-0 後半0-2) ・参加選手は15名(GK3名 FP12名) ・テーマは前回と同じく、攻撃における「個」の発想と、ディフェンスの強化。 ・テーマを浸透させるべく、ゲーム前のW-Upを兼ねたTRでは、ドリブルのTRを行い、また、前回課題であったコミュニケーションを向上させるためのTRも行った。 ・前半はこれまでで最も良い内容。相手に決定機をほとんどつくらせず、クリエイティブな攻撃を見せていた。が、後半開始早々に失点。その後、みるみるうちに足が止まり始め、2点目の失点を喫し、ゲーム終了。 				
キーファクター				

報告事項

(トレーニングの感想、課題、次回の活動、気になった選手等、報告事項がある場合に入力)

1. 今回初めて招集した選手を含め、そこそこのコミュニケーションで行うことができ、チームとしての形にもなってきた。この面に関しては、今後も継続して行っていきたい。
2. 攻撃の面に関しても、JSC千葉の山田を中心に、高い技術を持つ数人の選手をはじめ、よいアイデアがたくさん見られ、そこからの選手同士の刺激のし合いがあり、全体として向上が図れた。
3. 最大の課題は、ディフェンス。この背後にある大きな問題は「メンタル面の脆さ」。先に挙げたJSCの山田をとってみても、技術面では間違いなく関東レベルであるものの、疲労が見え始めたとたんに守備で手を抜き始める。様々な要因が考えられるが、県トレにきて修正すべきことでも、修正できるものでもなく、ここは彼らが自分たちの課題を発見する場であり、より高いレベルの選手を目指すという向上心を高めていく場である。その話を選手たちに伝え、改善を促したが、結局はそれぞれのチームでの、「習慣」を高める指導であるとする。県内のチームの指導者には、やはりこの部分が甘いとする。ぜひ県内に広くアナウンスし、県全体のレベルを高めていければ、とする。
4. 今年度、U-14については、毎月、ブロックから県の入替えを行った。選手・ブロックのモチベーションを高めることに繋がっている半面、関東リーグではコンセプトが浸透しにくいという面もある。が、この形は今後も継続し、全県の選手たちのチャンスが少しでも多くなるのが理想的であると思う。
一方、今年度については、2月の波崎での2日間に関しては、ある程度今年度の完成形として、次年度に引き継ぐ必要がある。よって、選手の入替えは1月までとし、2月には固定メンバーで臨み、バックアップは行わないこととしたい。波崎メンバーに選ばれなかったメンバーは、ブロックへ戻り、これまでの経験を生かしつつ、再チャレンジを狙わせたい。